

家畜衛生情報

公益社団法人 愛媛県畜産協会
〒790-0011 松山市千舟町6丁目5番地9
大西ビル4階

☆令和3年度家畜伝染性疾病予防接種料金表

公益社団法人愛媛県畜産協会が実施する牛、豚等の予防接種料金表です。

令和3年4月1日（単位：頭、円）

区分	項目	単位	料金	区分	項目	単位	料金
牛	5種混合（生）	1	1,970	豚	豚丹毒（生）	1	190
	5種混合（不）	1	1,960		日本脳炎（生）	1	620
	6種混合（生）	1	2,155		日本脳炎（不）	1	655
	6種混合（不混）	1	2,230		パルボウイルス感染症（生）	1	1,300
	流行熱・イバラキ混合（不）	1	1,015		パルボウイルス感染症（不）	1	1,045
	アカバネ病（生）	1	1,840		日脳・パルボ混合（生）	1	1,390
	異常産3種混合（不）	1	2,025		日脳・パルボ・ゲタ混合（生）	1	1,415
	異常産4種混合（不）	1	2,135		マイコプラズマ性肺炎（不）	1	460
	RSウイルス感染症（生）	1	1,050		伝染性胃腸炎・豚流行性下痢混合（20ml）	1	915
	ヘモフィルス感染症（不）	1	1,030		豚繁殖・呼吸器障害症候群（PRRS）（生）	1	765
	下痢5種混合（不）	1	2,510		豚サーコウイルス2型組換（不）ポーシリス	1	650
	マン・ヘモ（1型）感染症（不）	1	1,565		豚サーコウイルス2型組換（不）フレックス	1	570
	ヘモ・パス・マン3種混合（不）	1	1,570	馬	馬インフルエンザワクチン（単味（不））、 （三種混合（不））取り扱います。		
	牛サルモネラ2価（不）	1	1,230				
	牛伝染性鼻気管炎・牛パラインフルエンザ混合	1	1,425				
15種				12種			

備考	(生):生ワクチン、(不):不活化ワクチン、(不混):生ワクチンに不活化ワクチンを混合
牛	5種混合(生):IBR・BVD・PI・RS・アデノ混合生ワクチン
	5種混合(不):IBR・BVD(2価)・PI・RS混合不活化ワクチン
	6種混合(生):IBR・BVD(2価)・PI・RS・アデノ混合性ワクチン
	6種混合(不混):IBR・BVD(2価)・PI・RS・アデノ混合ワクチン
	異常産3種混合(不):アカバネ病・チュウザン病・アイノウイルス感染症不活化ワクチン
	異常産4種混合(不):アカバネ病・チュウザン病・アイノウイルス感染症・ピートンウイルス感染症不活化ワクチン
	下痢5種混合(不):ロタウイルス(3価)・コロナウイルス・大腸菌性下痢症混合不活化ワクチン
	ヘモ・パス・マン3種混合(不):ヒストフィルスソムナス感染症・パスツレラムルトシダ感染症・マンヘミアヘモリチカ感染症混合不活化ワクチン
豚	豚サーコウイルス2型組換(不):抗原としてサーコウイルス2型の2遺伝子組換え体を使用

☆ワクチン接種相談窓口

ワクチン接種相談窓口はつぎのとおりです。気軽にご相談ください。

公益社団法人愛媛県畜産協会業務部	TEL089-948-5885
東予支部（東予家畜保健衛生所内）	TEL0897-57-9122
中予支部（中予家畜保健衛生所内）	TEL089-990-1333
南予支部（南予家畜保健衛生所内）	TEL0894-22-0328

☆令和3年度指定獣医師名簿

公益社団法人愛媛県畜産協会が実施する牛・豚等の予防接種並びに自衛防疫事業に携わる指定獣医師は次の方々です。予防接種及び家畜の飼養衛生管理について、気軽にご相談ください。

東予支部（2名）			南予支部（14名）		
氏名	電話番号		氏名	電話番号	
渡邊 一生	0898-66-0324		宮本 徳一郎	0894-22-2490	
本宮 泰仁	0898-32-2445		井関 陽一	0894-72-0732	
			田尻 幸子	0893-44-2797	
			光沖 唯広	0894-72-0411	
			小西 和孝	0895-58-3201	
			那須 正信	090-1571-7285	
			上甲 正志	0894-72-0040	
			網崎 誠	0894-72-0040	
			土居 蘭	0894-72-0040	
中予支部（4名）			増田 純一郎	0894-72-0040	
福井 成孝	089-970-2125		村上 花野	0894-72-0040	
杉山 美恵子	089-958-5511		西田 克彦	0894-72-0040	
佐々木 亜由奈	089-958-5511		村上 慶政	0893-24-5158	
佐々木 金裕	089-958-5511		園部 隆久	0893-24-5158	
			合計	20名	

☆家畜防疫互助基金支援事業（事業実施期間：令和3年度～令和5年度）

口蹄疫、豚コレラ等の海外悪性伝染病が万一発生した場合に備え、発生農場が経営再開までに必要な経費等を生産者が相互に支援するため、生産者自ら造成した基金と独立行政法人農畜産業振興機構からの交付を合わせた互助金を交付する事業です。発生農場や周辺農場の損失を最小限にとどめ、安心して経営を維持、継続することができます。

令和3年度から令和5年度の三か年が実施されております。

事業の仕組みや加入手続きなど詳しい内容をお知りになりたい方は、畜産協会業務部又は各支部にお気軽にご相談ください。

☆家畜防疫・衛生指導対策事業（農場HACCP）

農場HACCPは農場の飼養衛生管理にHACCPの考え方をとり入れて、生産される畜産物の安全性の確保及び生産性の向上を図るためのものであり、危害要因の分析・評価（HA）を行い、個々の農場の状況に応じた一般的衛生管理プログラムや必須管理点（CCP）を決め、適切な飼養衛生管理に取り組むことにより最終的な製品の危害汚染を防止しようとするものです。

公益社団法人中央畜産会の助成を受け、具体的な取組支援等による農場の育成を通じて、農場HACCP認証の普及を図ることを目的として事業を実施しております。

☆馬伝染性疾病防疫推進対策事業

公益社団法人中央畜産会の助成を受け、地域における自主防疫活動の強化を図るため、競走馬以外の乗用馬等に対する馬インフルエンザのワクチン接種の推進、繁殖牝馬に対する馬鼻肺炎のワクチン接種の推進及び馬飼養衛生状況等の知識の普及啓発などの取組みを実施しております。